



令和7年  
3月

# 学校だより

NO.11 令和7年2月28日  
さいたま市立美園北小学校  
TEL 048(812)2277  
<https://misonokita-e.saitama-city.ed.jp>

## 「対話」の大切さ

校長 荒井 宏之

2月に行いました授業参観・懇談会には、多くの保護者の皆様に御参加いただきありがとうございました。各学年、1年間のまとめを意識した内容となっており、お子様の成長した姿を御覧いただけたことと思います。いよいよ現学年で過ごす最終月になります。一人ひとりが少しでも自分自身の成長を感じ、来年度に希望をもてるよう指導をまいりますので、御家庭におかれましても励ましのお声かけをよろしくお願いいたします。

さて、今年度は、12月と2月に講師をお招きして、4年生、6年生をそれぞれ対象とした携帯・スマホ安全教室を開催いたしました。この教室では、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使用する際に気を付けることや、インターネットに潜む危険についての講義を受けました。私も子どもたちと一緒に受講しましたが、印象的だったのが講師の先生が「人と人の対話」の重要性を強調していたことです。このような教室では、安全な操作方法や有害サイトにアクセスしないことのみが取り上げられがちですが今回は違っていました。講義後、講師の先生にお話を伺うと、様々な事象を目の当たりにする中でその重要性を再認識したことが「人と人の対話」であったそうです。今は、子どもたちの身近な所にインターネット環境があり、学習や生活の中でも活用が求められています。危険を回避するためには、操作の方法だけではなく、御家庭でルールを決めるために「話し合うこと」、友達に伝えたいことはできるだけ「顔を見ながら伝える」こと、これらのことがインターネットが普及した現代、一層重要になっているとのこと。では、なぜ「対話」なのか。それは、保護者の方や友達と日常的に話をしていくことが、使い方を誤りそうになった時や何かに巻き込まれそうになった時に「相談すること」につながるからだそうです。「これって大丈夫かな？」という疑問や迷いが生じた時、言葉に出して相談できるか否かでその後の展開は変わります。また、表情から読み取る、声のトーンを感じる、これらのことは、残念ながらメールやチャットなどの文字だけでは伝わらない部分です。今回、事例では、文面だけのやり取りで相手の人間像を作り上げ、実際に会いに行ってしまう、事件に巻き込まれてしまうものや、依存状態になり心配の声にも耳を傾けられない状況から、いろいろなものを失っていくというものが紹介されました。

国の方針もあり、学習場面においてもパソコンの使用頻度は多くなっています。私たち教員も、このような状況だからこそ、子どもたちとの対話を大切に、個々の状況把握に努めていかなくてはならないと強く感じました。また、スマートフォン等の利用に関しましては、帰宅後の使用が中心になります。御使用になる際には、子どもたちを被害者にも加害者にもしないために、ぜひ、各御家庭において「対話」をしながら、就寝時には保護者の方に機器を預ける、保護者の方には、いつでも渡す（チェックを受けられる）などのルールを決めていただければと思います。

学校だよりの本年度最終号の発行にあたり、この1年間の保護者並びに地域の皆様の学校教育への御理解と御支援に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。